

第3回明専スクールに参加して

機機H24 押川 貴哉



明専スクールへの参加にあたって

「明専スクールってナニ？」これが正直な感想でした。周りにも存在を知っている人ですら皆無だったからです。就職担当の先生からお話をいただいて参加させていただきましたが、参加が決まった時も「忙しいし、正直遠慮したいな」と思っていました。

しかし今では「参加して本当に良かった」と思い、是非後輩に内容と所感を伝えたいと思います。

講義

講師の先輩方による計8つの講義

が行われました。

最も印象的だったのは「出張報告書の作成」です。会社がいかに分かりやすい報告を求めているかを認識できたからです。講義についての出張報告書を提出し、先輩方から添削を受け、3日目のスクールにて書き方等の講義が行われました。添削例として数人の学生の出張報告書が紹介され、合格点を貰っている学生もおり、負けていけないと感じました。

グループ討議

与えられたテーマについて、6名程度のグループで討議し結論を発表するというものでした。

意見を他人に早く、分かりやすく伝えるスキルが非常に重要だと痛感しました。お互いがどのように考えているのかを素早く理解し合うことが非常に難しいと感じたからです。

このような討議形式の講義が大学で

もあると良いなと感じました。

懇親会

生協にて立食での1次会のあと、仙水荘に移り2次会まで行われました。諸先輩方も自分の失敗談を赤裸々にお話ししてくださり、また貴重なアドバイスもいただきました。

印象的なものは、「取引先に資料を評価が決まる」といったお話です。入社後5年というもののや、「入社後5年で評価が決まる」といったお話です。入社後自分の上司となるような立場の先輩方と、意見のやりとりをすることが出来る貴重な機会だと思います。



グループ討議の様子



12月16日の忘年会の様子

その後

2期生が卒業前に飲み会を開催したと伺ったので、負けじとスクールの翌日に忘年会を企画し、12月16日に実際に開催しました。(月曜日にもかかわらず、午前1時頃までお付き合いました。)

また出張報告書も、添削と講義を受けて修正し再提出をしました。担当の先輩方は業務がお忙しい中、喜んで引き受け再添削してくださいました。最後になりましたが、この明専スクールを開催するにあたりまして御尽力いただいた明専会、大学関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

(株小松製作所)

(平成25年12月記)